

平成29年度 年間事業計画

萩原保育園

平成29年度は保育所保育指針の周知期間とされている中、次々と発信される様々な情報を職員間で共有し、その内容を学習し実践で取り組みながら、現場では親子の生活と育ちを生活全体の視点で支え、親子の生活に寄り添う保育に努めていく。

また、各種の研修に参加し、的確な子どもの理解・専門的知識・技術の向上や倫理観に裏付けられた判断・対応が出来るようにキャリア・アップに努めていく。

【平成29年度の重点的取り組み事項】

1. 保育内容の向上

(1) 事故防止の取り組み

ヒヤリ・ハット事例の記録を取っている効果が認められるので、今年度も取り組みを継続し職員会議にかけながら職員の意識向上へとつなげ安全保育に努める。

(2) 保育の充実を図る

①知 育…図書室の利用を円滑に行い、絵本への興味・関心をより一層深め絵本作りへとつなげていく。

②徳 育…毎週の月曜集会を継続し、人の話を聞く姿勢・約束を守ることの大切さを伝えると共に約束事を提示し、保護者にも知らせ家庭へと繋げていく。

③体 育…体力の向上を図る。

毎週の月曜集会后、園児と職員で体操を継続して行っています。老朽化した固定遊具を撤去し園庭が広がったので、戸外活動の充実を図り、健康的な体力作りを行っていく。

④食 育…菜園活動や親子クッキングなどを通して食への関心を深めていく。

⑤環境の設備…定例の職員会議を利用し、各クラスの環境作りについての意見交換会を行い、環境の充実を図っていく。

2. 円滑な園の運営と充実

(1) 未就園児との交流・小学校との交流や年長者との交流を継続して行う。

(2) 毎日のリーダー会議で情報を共有し、保育士間の連携作りをしていく。

3. エコ活動の取組

リサイクルの取組→ダンボール・プルタブ・ペットボトルのキャップの青山市民センターへの持ち込みを継続していく。

【平均児童数／4月入所予定児童数】

定員130名

年齢別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平均児童数	10名	21名	22名	23名	24名	24名	124名
4月入所予定児童数	8名	18名	21名	24名	23名	23名	117名

【一時保育利用状況見込数】

未 満 児		以 上 児		合 計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
60件	120,000円	0件	0円	60件	120,000円

※通常保育の集団構成と異なることから、一人一人の子どもの心身の状態、保育場面への適応状況などを考慮して保育するよう心がける。

保育園に来た子どもにとって気持ちよく、ゆったりと過ごせるように心がける。

《 職員配置 》 必要に応じて日々雇用職員を雇用

【延長保育利用状況見込数】

利用登録人数(年間)	180名	平均実利用者数	8名
------------	------	---------	----

※長時間保育になるので、ゆったりとくつろげる雰囲気作りに心がける。

縦割り保育の利点を十分に活用し、保育を行う。

《 職員配置 》 正規保育士 1名(時間外にて対応)・臨時保育士 1名

1. 保育理念

児童福祉施設として乳幼児の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人ひとりの特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指します。

2. 保育方針

- ① 十分に養護の行き届いた温かい環境をつくる。
- ② 愛情と信頼関係をはぐくみ、人間性の輪を広げる。
- ③ 園外保育や地域の行事を積極的に取り入れる。
- ④ 日常生活の会話を通して豊かな言葉を養う。
- ⑤ さまざまな体験を通して豊かな感性、創造性を培う。

3. 保育目標

一人ひとりの子どもの個性を大切にしながら、心身共に健やかに生活し、将来健全な社会人に育つための基本を培う。

- ・健康で元気に活動できる子ども
- ・自分で考えて行動することができる子ども
- ・思いやりのある優しい心をもつ子ども

○ 保育内容

年齢（月齢）別に指導計画を立て、子どもたちが常に情緒の安定した生活ができるようにする。

- ・ゆったりとした楽しい雰囲気の中で、基本的な生活習慣が身につくようにする。
- ・友達との遊びを通して、社会性・協調性・仲間意識・友達への思いやりが育つようにする。

○ 行 事

年間行事(地域交流)予定（別紙1の通り）

- ・園外保育、水遊び遠足等は事故防止対策について職員間でよく検討してから実施する。
- ・生活発表会、運動会等は個性を大切にしながら全児を公平に参加できるようにする。

○ 安全対策

- ・避難訓練を毎月1回、多様な場面を想定して行う。年1回は消防署立ち合いの総合訓練を行う。
- ・交通安全指導及び設置遊具の安全指導を行い、合わせて安全点検を随時行う。
- ・安全管理に関し、職員の共通理解を図ると共に日頃から職員間で情報交換を行う（不審者の立ち入りなどの緊急時の体制、火災発生時の体制、地震・風水害時の体制等）

- ・送迎時における安全確保のため、原則として保護者が児童の送迎を行うことを保護者に周知徹底する。
- ・与薬については、医者が出した薬のみに限る。その際必ず所定の用紙に記入するよう指導する。
- ・食中毒等については、常に衛生管理に気を付け、調理員については特に食中毒予防の三原則を守るように指導する。

○ 地域との交流

- ・地域の在宅乳幼児を園に招き、交流をもつ。
- ・地域の年長者を招待し、交流を行う。
- ・小学校との交流体験を行う。
- ・卒園児を招待し、在園児との交流を深める。

○ 保育時間

保育標準時間 午前7：00から午後6：00まで
 保育短時間 午前9：00から午後5：00まで
 （保育時間を超える時間は、延長時間として対応）

○ 保育担当

クラス担当保育士、調理業務担当、事務担当を定める。

○ 職員研修

- ・全国大会をはじめ県、市が行うものまた、保育士会の各種研究研修会に参加する。参加した者は報告を行うと同時に、園内研修へと広げていく。
- ・毎月の職員会議において、指導計画の立案、問題点について話し合い共通理解をもつ。

4. 保育担当者（別紙2の通り）

5. 保育設備

(1) 敷地	北九州市八幡西区青山一丁目7番50号	1, 162.73㎡
(2) 建物	鉄筋コンクリート造 2階建	819.75㎡

6. 資金計画

通常経費は、・委託費収入・私的契約利用料収入・補助金事業収入・受託事業収入
 ・受入研修費収入・利用者等外給食費収入・その他の事業収入
 ・雑収入・受取利息配当金収入 等によるものとする。

【 平成29年度主な行事 】

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
4 月	平成29年度 入園・進級式・ 保護者会総会・クラス懇談会	全児・保護者	保 育 園 内
	固定遊具安全指導	全 児	保 育 園 内 ・ 園 庭
	交通安全指導	全 児	保 育 園 内 ・ 園 庭
	よもぎ団子作り	全 児	保 育 園 内
5 月	こどもの日の集会	全 児	保 育 園 内
	健康診断 1回目	全 児	保 育 園 内
	職員健康診断	職 員	保 育 園 内
	親子ふれあい遠足	全児・保護者	未 定
	卒園児交流会	全児・卒園児	保 育 園 内
	シルエット劇観劇	年 長 児	黒崎ひびしんホール
6 月	保育参加・給食試食会	全 児	保 育 園 内
	歯科検診	4・5歳児	保 育 園 内
7 月	プラネタリウム見学	年 長 児	児 童 文 化 科 学 館
	七夕まつり	全 児	保 育 園 内
	プール開き	全 児	保 育 園 内
	おまつりごっこ	全 児	保 育 園 周 辺
	個人懇談会	保 護 者	保 育 園 内
8 月	個人懇談会	保 護 者	保 育 園 内
	プール納め	全 児	保 育 園 内
	不審者訓練	全 児	保 育 園 内
10月	健康診断 2回目	全 児	保 育 園 内
	大運動会(卒園児・地域交流)	全児・保護者・卒園児	青 山 小 学 校
	青山小学校音楽会	4・5歳児	青 山 小 学 校
	青山市民センター祭り参加	3・4・5歳児	青 山 市 民 セ ン タ ー
11月	消防総合訓練	全児・地域住民・消防署	保 育 園 内
	秋の遠足	全 児	未 定
	車椅子バスケット観戦	年 長 児	総 合 体 育 館
12月	生活発表会	全 児	保 育 園 内
	クリスマス会	全 児	保 育 園 内
	ミニ発表会	全 児	保 育 園 内
	もちつき大会	全児・地域住民	保 育 園 内
	年末地域清掃	3・4・5歳児	保 育 園 周 辺

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
1 月	縦割り保育 食育教室（親子クッキング） 郵便ごっこ たこ作り・たこあげ大会	3・4・5歳児 年 長 児 3・4・5歳児 年 長 児	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
2 月	節分・豆まき 作品展・おみせやさんごっこ 保育参加・講演会	全 児 全 児 全児・保護者	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
3 月	就学前交通安全指導 お別れ遠足 お別れ会食 お別れ式 卒園式 修了式	年 長 児 全 児 全 児 全 児 4・5歳児 在 園 児	交 通 公 園 未 定 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内

1. 月例行事

- ・ 誕生会 ・ 避難、消火訓練 ・ 身体測定 ・ 音楽指導(3歳以上児)
- ・ 全職員細菌検査 ・ 給食関係職員O-157検査 ・ 定例職員会議
- ・ 園内研修
- ・ 図書貸し出し

2. その他

- ・ 一日保育士体験、中学生の保育園実習
- ・ 小学校との交流（年間4回程度）
- ・ 萩原遊ぼう会（年間6回程度）
- ・ 年長者交流会（年間4回程度）
- ・ お泊り保育〔年長児〕
- ・ 事業協会 所(園)長定例会議及び主任保育士会議は必要に応じて開催する。
- ・ 保育園内消毒
- ・ 消防設備機器点検 ・ 設置遊具等の安全点検
- ・ 月曜集会(3歳以上児)・月曜集会体操(全児)
- ・ 個人懇談
- ・ ボランティア体験学習受け入れ
- ・ 青山まちづくり協議会に参加し、地域との連携を図る。

3. 青山市民センター及び育児サークル等の活動に積極的に参加し、子育て支援を行う。

4. 職員研修については、保育者としての資質向上の為、一人でも多く各種研修会に参加する。

※ 毎月始め 園便り・クラス便り、献立表・給食便りを発行。